

ALEXANDER
GAVRYLYUK

音楽史に凜然と輝く!

ロシア3大 ピアノ協奏曲

一挙演奏!!

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

Tchaikovsky : Piano Concerto No.1 in B-flat minor, op.23

プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 op.26

Prokofiev : Piano Concerto No.3 in C major, op.26

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18

Rachmaninov : Piano Concerto No.2 in C minor, op.18

2018

9.12 [水] 19:00開演 (18:20開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

7:00p.m. Wednesday, September 12, at Tokyo Metropolitan Art Space Concert Hall

S ¥9,000 A ¥7,000 B ¥5,000 C ¥3,000

[夢倶楽部会員 S ¥8,100 A ¥6,300 B ¥4,500 C ¥2,700]

4/1 (日)
10:00前売開始

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員：WEB 3/24 (土)・TEL 3/25 (日)

ジャパン・アーツびあネット会員：WEB 3/30 (金)

お申込み ◎ジャパン・アーツびあ (03)5774-3040 www.japanarts.co.jp/ ◎東京芸術劇場ボックスオフィス (0570)010-296
◎チケットびあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード110-136] ◎イープラス eplus.jp
◎ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード34151]

管弦楽：東京交響楽団
Orchestra : Tokyo Symphony Orchestra

世界が注目するロシアの俊英!
シヨルティ国際指揮者コンクール2017優勝!

指揮：
ヴァレンティン・ウリュピン

Conductor: Valentin Uryupin

©Evgeny Evtyukhov

アレクサンダー・ガヴリリユク

ロシアを表現した3つの協奏曲を 一夜で演奏するガヴリリユク

片桐卓也
(音楽ライター)

2018年1月に来日して、いつもながら素晴らしいリサイタルを聴かせてくれたアレクサンダー・ガヴリリユク。繊細で、力強く、作品の隅々にまで彼の感性が感じられる見事な演奏だった。そのガヴリリユクが2018年、再び来日して、とても興味深い演奏会を開催することになった。それが「ロシア3大ピアノ協奏曲」を一回の演奏会で弾き切るというものだ。3大協奏曲とは、もちろんチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番、プロコフィエフのピアノ協奏曲第3番、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番である。

「これを思い付いた時に、自分ながらとても良い企画だと思いました。ロシアのピアノ協奏曲を代表する3曲は、それぞれに個性的で興味深い作品です。まるでロシアの歴史と風土を体験するような、そんな感覚を聴衆の皆さんと共に出来る機会となるでしょう」とガヴリリユクは語る。

それらの協奏曲の個性をガヴリリユクはどう捉えているのだろうか、伺ってみた。「この3つの協奏曲には、ロシアの歴史と文化が反映されています。チャイコフスキーの協奏曲はロシア楽派を代表する楽曲で、そのメロディの美しさはロシア文化、その真髄そのものに深く根ざしています。ラフマニノフは自分の人生の苦悶を音楽に反映させるという点をチャイコフスキーから学び、内面的な葛藤を音楽に反映させ、それが勝利で終わるという点が共通しています。しかし、もちろんメロディの中にはメランコリックで美しい要素がたくさんあり、それがラフマニノフらしい個性を作り出します。プロコフィエフはロシア革命後に様々な美しいものが失われたことを皮肉たっぷりに、そして、現代的にグロテスクに描いているように思えます」

演奏順にも、その考えが反映され、チャイコフスキー、プロコフィエフ、ラフマニノフという順番で演奏されるが、明～暗～明というような構成を意識したものと言う。

それにしても、ひとつ演奏するだけでも大変そうな協奏曲ばかりを一夜で演奏するというのはプレッシャーではないのだろうか。

「ひとつひとつの作品とはこれまでじっくり取り組んで来て、何度も演奏しているので、大丈夫ですよ」とガヴリリユクは笑って答えてくれた。2017年にシヨルティ国際コンクールで優勝した俊英ウリュピンがタクトをとるのも大きな話題となるだろう。

アレクサンダー・ガヴリリユク (ピアノ)

Alexander Gavrylyuk, Piano

1984年生まれ。ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール、浜松国際ピアノコンクール、ルービンシュタイン国際ピアノコンクールで優勝。10年、ロイヤル・コンサートヘボウ管との初共演以降、マスター・ピアノ・シリーズにおけるリサイタルや同オーケストラとの共演のため、毎年アムステルダムで公演を行う。これまでにニューヨークフィル、ロサンゼルスフィル、イスラエル・フィル、ロッテルダムフィル、N響などのオーケストラや、ゲルギエフ、ノセダ、プロムシュテット、アシュケナージ、ラザレフなどの指揮者と共演している。

17/18シーズンの主な活動には、ダウスゴー指揮/BBCスコティッシュ響とのBBCプロムス初出演、チェコフィル、ルクセンブルクフィル、マインツフィル、リール国立管へのデビュー。さらにハレ管、東京交響楽団、コンサートヘボウ管、シドニー響等との再共演がある。

ソロ・リサイタルも世界中の一流ホールで定期的に行っており、コンサートヘボウ、ウィグモア・ホール、モスクワ、ケルン、ワルシャワ、バンクーバー、サンフランシスコ、シドニー、メルボルンでリサイタルを行う。また、ヨーロッパ、アジア、北米でジャーニー・ヤンセンとデュオリサイタルツアーを行う。

シャトウク・インスティテュートのアーティスト・イン・レジデンスを務め、芸術顧問としてピアノのプログラムを主導している。また多数のチャリティー活動を支援しており、その中にはオーストラリアの若手ピアニストを援助するTheme & Variationsによる若いピアニストのための基金、カンボジアの子供たちのために寄宿制教育施設を建設した、オポチュニティ・カンボジアが含まれる。スタインウェイアーティスト。

ヴァレンティン・ウリュピン (指揮)

Valentin Uryupin, Conductor

2017年の第8回シヨルティ国際指揮者コンクールの優勝者であるヴァレンティン・ウリュピンは同世代の中で最も才能のある若手指揮者であり、20以上の国際コンクールを制したクラリネット奏者でもある。

11年以来、ベルム歌劇場のムジカエテルナの常任指揮者を、15年からロストフ・ナ・ドフ交響楽団の芸術監督を務めている。客演ではマドリッド・レアル歌劇場、アイルランド国立響、マリンスキー劇場、ロシア・ナショナル管などに出演したほか、国立スヴェトラノフ管との中国ツアーを行った。今後、ベルリン・ドイツ響、SWR響、フランクフルト・ムゼウム管、ザールブリュッケン放送響、ウィーン放送響などへのデビューが控えている。

東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ・川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市、八王子市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開している。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。教育面でも「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目されている。海外公演も多く、これまでに57都市で76公演を行ってきた。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。2016年に創立70周年を迎え、同年10月にウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行い、各地で好評を得た。公式サイト：<http://tokyosymphony.jp/>

ジャパン・アーツ グレート・ピアニスト・シリーズ2018/19

アレクサンダー・ガヴリリユク

18年9月12日(木) 東京芸術劇場 コンサートホール

エフゲニー・キーシン ピアノ・リサイタル

18年11月6日(木) サントリーホール / 11月14日(木) 東京芸術劇場 コンサートホール

ダニール・トリフォノフ ピアノ・リサイタル

18年12月7日(金) 東京オペラシティ コンサートホール

レイフ・オヴェ・アンズネス ピアノ・リサイタル

19年3月18日(日) 東京オペラシティ コンサートホール

お得な4公演シリーズ券を発売! 詳しくはWEBへ

特別割引チケットのご案内 (ジャパン・アーツぴあコールセンター及びWEBジャパン・アーツぴあにて受付)

- ◎学生席 (各ランクの半額) ※ 社会人を除く25歳までの学生が対象です。学生席はジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も、一般価格の半額です。残券がある場合に限り、7月12日(木)10:00より受付を開始します。公演当日、入口にて学生証を拝見いたします。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴することがございます。)
- ◎シニア・チケット=65歳以上の方はS席・A席を会員料金でお求めいただけます。◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付)

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。〉

- ① やむを得ない事情により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。② 公演中止を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。いかなる場合も再発行はできません。チケットがない場合にはご入場いただけませんので、紛失等には十分ご注意ください。③ 演奏中は入場できません。④ 未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑤ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。⑥ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂く場合がございます。

Twitterでフォローする [twitter @japan_arts](https://twitter.com/japan_arts)